

～ものがある（確實有～・令人感到～）

「～ものがある」（確實有～（之處）・令人感到～（感慨評價）） — ① 句型と例句

N2・CEFR B2

姓名： 日期：

STEP 1・先讀懂句型：先看下面的句型公式與說明，再把例句一句一句唸出聲音。看懂了、唸熟了，再翻到第 2 頁自己動筆寫。



柴犬老師陪你學！

動詞辭書形／い形容詞／な形容詞＋な → ＋ものがある → 確實有～・令人感到～（評價・感慨）

「～ものがある」表達說話者面對某事物時、強烈感受到「確實有某種特質・令人感到～」。雖然說不太清楚理由、但話者打從心裡這麼覺得、是帶實感的主觀評價、感慨。

接續：

- ① 動詞辭書形＋ものがある：「彼の話し方には人を安心させるものがある」（他的說話方式確實有讓人安心之處）。
- ② 動詞否定形＋ものがある：「努力が報われないのは、納得できないものがある」。
- ③ い形容詞＋ものがある：「この映画の結末には切ないものがある」（這部電影的結局確實令人心酸）。
- ④ な形容詞＋な＋ものがある：「彼の作品には感慨深いものがある」（他的作品確實令人深有感慨）。

2 大用法：

- ① 「確實有～之處」：對人事物的某種特質下評價。「彼の絵には心を打つものがある」（他的畫確實有打動人心之處）。
- ② 「令人感到～（感慨）」：抒發深切的感慨、常配「考えさせられる・感慨深い・目を見張る・鬼気迫る」等。「彼の上達には目を見張るものがある」（他的進步令人刮目相看）。

最重要對比 — ものがある vs ものだ系：

- ・「ものがある」＝主觀感慨評價：「この作品には心を打つものがある」（確實打動人）。
 - ・「ものだ」（62-1）＝常理・本來如此：「年を取ると涙もろくなるものだ」（人上了年紀本來就容易掉淚）。
 - ・「というものだ」（80-3）＝強烈斷定下結論：「それは甘えというものだ」（那就叫做撒嬌）。
- ものがある＝實感的評價・感慨／ものだ＝常理・感嘆／というものだ＝斷定。

注意：

- ① 前面常接「描寫特質・引發情緒」的詞、不接單純表時間・數量的詞：×「三時間かかるものがある」。
- ② 「～には～ものがある」是最常見句型、「には」加強了「在～這點上確實有」的語感。
- ③ 多用於書面、評論、抒情、演講、屬於略帶文藝的中高級表達。

例句（9句）

彼の絵には心を打つものがある。（かれの えには こころを うつ ものがある。） 他的畫確實有打動人心之處。

彼の話し方には人を安心させるものがある。（かれの はなしかたにはひとを あんしんさせる ものがある。） 他的說話方式確實有讓人安心之處。

この映画の結末には切ないものがある。（この えいがの けつまつには せつない ものがある。） 這部電影的結局確實令人心酸。

彼女の上達には目を見張るものがある。（かのじょの じょうたつには めを みはる ものがある。） 她的進步令人刮目相看。

あの俳優の演技には鬼気迫るものがある。（あの はいゆうの えんぎには ききせまる ものがある。） 那位演員的演技確實有震懾人心的張力。

彼の作品には感慨深いものがある。（かれの さくひんには かんがいがいふかい ものがある。） 他的作品確實令人深有感慨。

祖父の言葉には、今でも考えさせられるものがある。(そふのことばには、いまでもかんがえさせられるものがある。) 祖父の話、至今仍有讓人深思之處。

彼の努力には、頭が下がるものがある。(かれのどりよくには、あたまがさがるものがある。) 他的努力確實令人敬佩。

この古い町並みには、捨てがたいものがある。(このふるいまちなみには、すてがたいものがある。) 這片古老的街景、確實有令人難以割捨之處。

～ものがある（確實有～・令人感到～）

「～ものがある」（確實有～（之處）・令人感到～（感慨評價）） — ② 練習

N2・CEFR B2

姓名： 日期：

STEP 2・自己寫寫看：看左邊的提示詞，在底線上寫出完整的日文句子，記得加上正確的助詞與句尾。寫完再翻到第 3 頁對答案。

動詞辭書形／い形容詞／な形容詞＋な → **＋ものがある** → **確實有～・令人感到～（評價・感慨）**

1 提示：彼の絵・心を打つ（こころをうつ）

2 提示：話し方・安心させる（あんしん）

3 提示：結末・切ない（せつない）

4 提示：上達・目を見張る（めをみはる）

5 提示：演技・鬼気迫る（きぎせまる）

6 提示：作品・感慨深い（かんがいぶかい）

7 提示：祖父の言葉・考えさせられる（かんがえる）

8 提示：努力・頭が下がる（あたまがさがる）

9 提示：町並み・捨てがたい（すてがたい）

10 提示：(畏)な形容詞要加「な」（なけいよう）

11 提示：(異) **ものがある vs ものだ** (ちがい)

12 提示：(異) **不接時間数量詞** (じかん)

13 提示：(自由) **職人技** (しょくにんわざ)

14 提示：(自由) **老舗** (しにせ)

15 提示：(自由) **スピーチ** (すぴーち)

16 提示：歌声・聴く人を引き込む (ひきこむ)

17 提示：文章・説得力 (せつとくりよく)

18 提示：景色・心を癒す (いやす)

19 提示：技術・見事 (みごと)

20 提示：決断・潔い (いさぎよい)

21 提示：伝統行事・引き継ぐ (ひきつぐ)

22 提示：別れの場面・胸に迫る (むねにせまる)

～ものがある（確實有～・令人感到～）

「～ものがある」（確實有～（之處）・令人感到～（感慨評價）） — ③ 解答

N2 ・ CEFR B2

姓名： 日期：

STEP 3・對答案：以下為已驗證的模範解答。標示「參考解答」者為開放式題目的其中一種正解，並非唯一答案。

1 提示：彼の絵・心を打つ（こころをうつ）

彼の絵には心を打つものがある。（かれの えには こころを うつ ものがある。）

かれの えには こころを うつ ものがある。

他的畫確實有打動人心之處。

2 提示：話し方・安心させる（あんしん）

彼の話し方には人を安心させるものがある。（かれの はなしかたには ひとを あんしんさせる ものがある。）

かれの はなしかたには ひとを あんしんさせる ものがある。

他的說話方式讓人安心。

3 提示：結末・切ない（せつない）

この映画の結末には切ないものがある。（この えいがの けつまつには せつない ものがある。）

この えいがの けつまつには せつない ものがある。

結局令人心酸。

4 提示：上達・目を見張る（めをみはる）

彼女の上達には目を見張るものがある。（かのじょの じょうたつには めを みはる ものがある。）

かのじょの じょうたつには めを みはる ものがある。

進步令人刮目相看。

5 提示：演技・鬼気迫る（ききせまる）

あの俳優の演技には鬼気迫るものがある。（あの はいゆうの えんぎには ききせまる ものがある。）

あの はいゆうの えんぎには ききせまる ものがある。

演技震懾人心。

6 提示：作品・感慨深い（かんがいぶかい）

彼の作品には感慨深いものがある。（かれの さくひんには かんがいぶかい ものがある。）

かれの さくひんには かんがいぶかい ものがある。

作品令人深有感慨。

7 提示：祖父の言葉・考えさせられる（かんがえる）

祖父の言葉には、今でも考えさせられるものがある。（そふの ことばには、いまでも かんがえさせられる ものがある。）

そふの ことばには、いまでも かんがえさせられる ものがある。

祖父的話仍讓人深思。

8 提示：努力・頭が下がる（あたまがさがる）

彼の努力には、頭が下がるものがある。（かれの どりよくには、あたまが さがる ものがある。）

かれの どりよくには、あたまが さがる ものがある。
他的努力令人敬佩。

9 提示：町並み・捨てがたい（すてがたい）

この古い町並みには、捨てがたいものがある。（この ふるい まちなみには、すてがたい ものがある。）

この ふるい まちなみには、すてがたい ものがある。
古街令人難以割捨。

10 提示：(畏) な形容詞要加「な」（なけいよう）

(×) 複雑ものがある / (○) 複雑^{ふくざつ}な**ものがある**

ふくざつ
な形容詞要加「な」才接。

11 提示：(畏) ものがある vs ものだ（ちがい）

(評価) 心を打つものがある / (常理) 年を取ると忘れるものだ

ちがい
ものがある=感慨評價、ものだ=常理。

12 提示：(畏) 不接時間數量詞（じかん）

(×) 三時間かかるものがある / (○) 考えさせられるものがある

じかん
後接引發評價情緒的詞、不接單純時間量。

13 提示：(自由) 職人技（しよくにんわざ）

參考解答

この器の手仕事には、機械には出せないものがある。（この うつわの てしごとには、きかいには だせない ものがある。）

この うつわの てしごとには、きかいには だせない ものがある。
這器皿的手工有機器做不出的韻味。

14 提示：(自由) 老舗（しにせ）

參考解答

百年続くこの店の味には、他にはないものがある。（ひやくねん つづく この みせの あじには、ほかには ない ものがある。）

ひやくねん つづく この みせの あじには、ほかには ない ものがある。
百年老店的味道有別處沒有的東西。

15 提示：(自由) スピーチ（すぴーち）

參考解答

彼の言葉には、聞く人の心を動かすものがある。（かれの ことばには、きく ひとの ところを うごかす ものがある。）

かれの ことばには、きく ひとの ところを うごかす ものがある。
他的話確實能打動聽者的心。

16 提示：歌声・聴く人を引き込む（ひきこむ）

彼女の歌声には、聴く人を引き込むものがある。（かのじょの うたごえには、きく ひとを ひきこむ ものがある。）

かのじょの うたごえには、きく ひとを ひきこむ ものがある。
她的歌聲能把聽眾深深吸引。

17 提示：文章・説得力（せつとくりよく）

彼の文章には、人を納得させるものがある。（かれの ぶんしょうには、ひとを なつとくさせる ものがある。）

かれの ぶんしょうには、ひとを なつとくさせる ものがある。
他的文章確實有說服力。

18 提示：景色・心を癒す（いやす）

夕暮れの海には、心を癒すものがある。（ゆうぐれの うみには、こころを いやす ものがある。）

ゆうぐれの うみには、こころを いやす ものがある。
黃昏的海確實有療癒人心之處。

19 提示：技術・見事（みごと）

あの大工の技術には、見事なものがある。（あの だいくの ぎじゅつには、みごとな ものがある。）

あの だいくの ぎじゅつには、みごとな ものがある。
那位木匠的技術確實精湛。

20 提示：決断・潔い（いさぎよい）

彼の引き際には、潔いものがある。（かれの ひきぎわには、いさぎよい ものがある。）

かれの ひきぎわには、いさぎよい ものがある。
他退場的時機確實乾脆俐落。

21 提示：伝統行事・引き継ぐ（ひきつぐ）

この祭りには、世代を超えて引き継がれるものがある。（この まつりには、せだいを こえて ひきつがれる ものがある。）

この まつりには、せだいを こえて ひきつがれる ものがある。
這個祭典有跨世代傳承下來的東西。

22 提示：別れの場面・胸に迫る（むねにせまる）

あの別れの場面には、胸に迫るものがあった。（あの わかれの ばめんには、むねに せまる ものがあった。）

あの わかれの ばめんには、むねに せまる ものがあった。
那個離別的場面確實扣人心弦。